

“ミセスサンタ”を使ったお菓子はいかが？
“ミセスサンタ”いちごのお菓子フェア



▲ずらりと並んだ
“ミセスサンタ”のお菓子

『サンタクロースの聖地・天草』をPRしようと、“ミセスサンタ”と名付けた天草産イチゴを使ったケーキやまんじゅうなどを販売するフェアが、2月29日まで市内12の菓子店で開催中です。“ミセスサンタ”は、公認サンタクロースの夫人たちが天草を訪れ苗植えを手伝ったことから、名付けられたもの。フェアでは、イチゴ果汁入りの“サンタサイダー”が当たるスタンプラリーも実施。詳細は、(一社)天草宝島観光協会 ☎2243へ。

新鮮な魚介類を販売！
天草漁協崎津支所・朝市



▲新鮮な魚を買い求める来場者

河浦町の天草漁協崎津支所で12月28日、朝市が開かれました。同支所が、毎年5月の大型連休と年末に開催しているもので、今回で13回目。漁業者や水産加工業者など15店が、タイやアンコウなどの新鮮な魚介類を販売。“生のアコヤガイの貝柱”の販売店には行列ができすぐに完売するなど大盛況でした。買い物客は、「新鮮な魚介類なので、いつも楽しみにしています」と話していました。

機敏な動きを披露！
消防出初式



▲放水競技を行う団員

1月17日、「消防出初式」が本渡運動公園陸上競技場で開かれ、市消防団員など1,111人が参加しました。団員たちが分列行進、整列隊形や規律などの通常点検、放水競技を行い、機敏な動きを披露。通常点検は五和方面隊、放水競技は牛深方面隊が優勝しました。また、同式後には第10回目を記念してもち投げも行われました。

“えびす顔”で新春のイベントを楽しむ
倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会



▲大鼓演奏を受けながら走る選手

1月10日、倉岳大えびす像公園一帯で「倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会」が開かれました。祭りでは、えびす太鼓の披露や地元漁船50隻による海上パレードなどが実施され、3,900人が来場したいへんにぎわいました。また、マラソン大会には3・5・10kmのコースに県内外から1,381人が参加。秀岳館高校雅太鼓の演奏や沿道の声援を受けながら、潮風かおる新春の倉岳路を気持ちよさそうに走っていました。

浦河と河浦の児童が交流

北海道浦河町の小・中学生来訪



▲クイズ形式で交流を行うようす

1月12日から同14日まで、市と友好交流都市提携協定を結んでいる北海道浦河町の小・中学生など13人が市を訪れました。協定締結後初めての交流事業で、河浦小学校の児童がクイズ形式で天草市や河浦町の紹介を行い交流を深めたほか、崎津教会の見学、みかん狩りなどを体験。荻伏小学校6年の吉田菜緒さんは、「河浦や天草のことを学ぶことができました」と笑顔で話していました。

無病息災・家内安全を願って

須子地区鬼火焼き



▲鬼火焼きのようす

有明町の須子地区振興会と須子子ども会が1月10日、同地区にある漁協前広場で鬼火焼きを実施しました。1年間の無病息災や家内安全を願って毎年行っているもので、地域住民40人が参加。竹や木などで組み上げられた高さ10mのやぐらに火がつけられると、空高く燃え上がっていました。火が弱まると、参加者はもちやサツマイモなどを焼いておいしそうにほおばっていました。

届け！花の種！1人ひとりの思いをのせて

「人権の花」運動



▲青空に風船を飛ばす児童たち

栖本小学校の全児童95人が12月14日、自分たちで育てたアサガオやケイトウなどの花から採取した種と「大事に育ててください」など書いた手紙をつけた風船を空に飛ばしました。花の栽培を通して人権や生命を大切に育てる「人権の花」運動の一環として実施。後日、宮崎県や球磨郡で種を拾った人から「幸福の種が舞い降りました。大切に育てます」などの手紙が同校に届き、児童たちはたいへん喜んでいました。

迫力ある演奏や演技を堪能！

専大玉名高校マーチング公演



▲専大玉名高校マーチング公演のようす

12月23日、隊列を組んで動きながら楽器の演奏などを行う“マーチングバンド”の全国大会13年連続出場の専大玉名高校吹奏楽部による、「マーチング公演」が天草市民センター体育館で開かれ450人が来場しました。各楽器などの紹介や「ヴィタエ・エターナム」などの楽曲のマーチングを披露。また、全日本吹奏楽コンクールに出場した本渡中学校吹奏楽団による演奏も実施。来場者は、迫力ある演奏や演技を堪能していました。